



みやき町

こんにちは

議会

です。

Contents ・主な内容・

議会挨拶	2
議案審議結果(臨時会:12月定例会)...	3
注目議案(条例制定・補正予算ほか)...	4
決算審査報告	5~9
一般質問・11名が町政を問う	10~21
編集後記ほか	22

コロナの収束を願って…
朝日に染まる雪景色

(撮影日 令和3年1月10日)

各庁舎、こすもす館ロビーに設置のテレビで議会
中継を視聴できます。

また、スマートフォンやタブレット端
末でもインターネット議会中継を視聴で
きます。

みやき町議会中継

検索



謹んで新春のお慶びを申し上げます



議長 田中 俊彦

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろより町議会に対するご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

旧年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策で何事も予定通りに行かず大変寂しい一年となりました。

このような中、国内外の政治に大きな動きがあり、国内では菅首相誕生、米国ではバイデン次期大統領選出となりました。

当町の定住対策は、7年連続の転入超過・3年連続人口増と効果が見られました。また、7月よりふるさと納税の受付が再開となりました。

本年は、4月に待機児童解消のため新たな保育園が開園、同月B&G海洋センターの改修工事完了、6月にはメデイカルコミュニティセンターが完成し、統合医療を核として、一人ひとりが健康づくりに取り組み健康維持を増進するなどの「健康長寿のまち」推進を図っていきます。

議会は、さらに多様化する課題に引き続きしっかりと取り組んでまいります。

なお、5月には、東京五輪・パラリンピックの聖火がみやき町を駆け抜ける計画です。

新型コロナウイルス感染症防止のため、手洗い・マスクの着用を実施し、3密（密集・密接・密閉）を避けコロナによる変化を捉え、コロナ禍から抜け出し希望を見いだす年にしたいたいです。



(後列左から) 牟田秀文議員 大石安弘議員 田上幸男議員 目野さとみ議員 本村鶴夫議員
 (中列左から) 岡友清議員 益田清議員 岡広明議員 園田邦広議員 平野達矢議員
 (前列左から) 宮原宏典議員 古賀通議員 田中俊彦議長 松信彰文副議長 中尾純子議員

令和2年 第6回臨時会 会期11月27日

議案及び採決結果

議案	議案内容	採決結果
議案第87号	みやき町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	賛成13 反対1
【内容】 期末手当を年間で0.05月分引き下げる改正。なお、町長、副町長、教育長の手当の改定に準じて議会議員の期末手当についても引き下げ		
議案第88号	みやき町一般会計補正予算（第6号）	賛成13 反対1
議案第89号	みやき町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
【内容】 人事院及び佐賀県人事委員会の給与等の改定による0.05月分の特別給の減額とそれに伴う共済費の減額		

令和2年 第4回定例会（12月） 会期12月8日～12月16日

議案及び採決結果

議案	議案内容	採決結果
議案第90号	みやき町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の制定	全員賛成
【内容】 土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び崩落等による災害の発生を未然に防止するため、必要な規制を行うことにより、町民の生活環境の保全及び生活の安全に資することを目的とする条例 【※P4『注目議案』参照】		
議案第91号	みやき町企業誘致条例の一部改正	全員賛成
【内容】 中小企業の事業承継の促進のための中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。第6条固定資産税の課税免除等の規定で、引用する法律の条ずれに伴う改正		
議案第92号	みやき町国民健康保険税条例の一部改正	全員賛成
【内容】 税額を算定する際の給与所得・公的年金等の控除が10万円引き下げられ、基礎控除額が10万円引き上げることとなる改正等		
議案第93号	みやき町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	全員賛成
【内容】 附則第2条における延滞金の割合等の特例規定で、「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」とするなどの文言の修正等に伴う改正		
議案第94号	工事請負契約の変更契約の締結	賛成12 反対2
【内容】 当初予定していたプールリフトを着脱式階段に変更 【※P4『注目議案』参照】		
議案第95号	みやき町一般会計補正予算（第7号）	全員賛成
【内容】 1億402万4千円を追加し、総額199億6,365万3千円に 【※P4『注目議案』参照】		
議案第96号	みやき町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	全員賛成
【内容】 229万円を追加し、総額18億99万円に 個人設置型浄化槽設置予定基数の増に伴う229万円の増額、補助金の増額に伴う市町村設置型浄化槽事業債20万円の減額		

条例制定

●みやき町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例（令和3年4月1日施行）

目的

建設残土などの埋立て等による土壌の汚染や土砂の流出による災害の発生を防止するため、事業者や土地所有者等の責務を明らかにし、事業者に対して必要な規制を行うことにより、町民の生活の安全を確保するとともに生活環境を保全する。

内容

一定規模の土地の埋立て等について、埋立て等を行う行為を許可制とし、埋立て等に用いる土砂の性質や安全性、土砂の数量及び施工計画等を事前に審査する。罰則規定あり。

変更契約

●B&G海洋センター施設改修工事

利用者のニーズに合った設備へ変更

内容

工事発注当初予定していたプールリフト（乗用昇降機）1台【変更前】について、利便性があり安全で使い勝手の良い物を改めて検証した結果、利用者のニーズに合った設備を設置することが好ましいと判断されることから着脱式階段2台【変更後】を設置するよつに変更を行う。

一般会計補正予算

歳出

●光ケーブル移設工事費 220万円

電柱移設による光ファイバーケーブルの架け替え工事件数の増加

●国が行う新型コロナウイルスワクチン接種事業実施のための委託料 774万1千円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業を実施するための経費

●林道九千部山横断線2カ所の災害復旧工事費 704万円

令和2年7月豪雨により林道九千部山横断線の林道路肩と山腹崩壊の2カ所の災害が発生し、その災害復旧工事費の増額

●公立学校情報機器整備費 2899万7千円

公立学校情報機器整備費補助金を活用してタブレット端末603台の購入経費

●町長選挙・町議会議員補欠選挙費 1464万2千円

令和3年4月に執行される町長、町議会議員補欠選挙費の年度内の報酬等必要経費

繰越明許費

●メディアカルコミュニティみやきプロジェクト複合施設整備事業

【翌年度繰越額】23億8972万8千円

【理由】新型コロナウイルス感染症の影響により資材の不足や高騰及び感染予防に伴う日常的な業務増により行程に遅延が生じ年度内完了が困難となっているため

●学習者用端末整備事業

【翌年度繰越額】2899万7千円

【理由】国のGIGAスクール構想による学習者用端末603台を整備するにあたり、導入まで相当期間が必要であり、年度内導入が困難となっているため



※『繰越明許費（くりこしめいきよひ）』とは
歳出予算のうち、その性質上または予算成立後の事由によりその年度内に支出が完了しない見込みの経費（予算）で、議会の議決を得て翌年度に繰り越し使用できる経費（予算）のこと。（地方自治法213条）

地方債補正（追加）

【起債の目的】農林水産施設災害復旧事業債

【内容】7月豪雨による、広域林道九千部山横断線の災害復旧のための財源の追加

【限度額】160万円 【起債の方法】証書借入

【利率】年4.0%以内

令和元年度 決算を認定（一般会計・特別会計）

各常任委員会は11月2日・4日・5日・10日の4日間にわたり、また、ふるさと寄附金事業特別委員会は11月9日に各会計の予算が適正かつ効果的に執行されたかなど厳正に審議を行った結果、各会計決算は12月16日の本会議において全員賛成または賛成多数にて認定されました。

◎：委員長 ○：副委員長

委員会名	委員名	会計事業名
総務文教常任委員会	◎古賀 通 ○宮原 宏典 本村 鶴夫 中尾 純子 田中 俊彦	1. 一般会計（総務文教常任委員会付託分） 2. グリーンパーク推進整備事業基金特別会計
産業建設常任委員会	◎園田 邦広 ○田上 幸男 岡 友清 牟田 秀文 平野 達矢	1. 一般会計（産業建設常任委員会付託分） 2. 下水道事業特別会計 3. 工業用地取得造成事業特別会計 4. 住宅用地取得造成事業特別会計
民生福祉常任委員会	◎益田 清 ○目野さとみ 大石 安弘 松信 彰文 岡 広明	1. 一般会計（民生福祉常任委員会付託分） 2. 国民健康保険特別会計 3. 後期高齢者医療特別会計
ふるさと寄附金事業特別委員会	◎岡 広明 ○益田 清 田上 幸男 本村 鶴夫 中尾 純子 大石 安弘	1. ふるさと寄附金基金特別会計



総務文教常任委員会 決算審査の結果及び所見（抜粋）

（1）令和元年度 一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）〈全員賛成〉

①町税3税の滞納繰越分について、徴収率46.66%で、前年度に比べ3.62%の増となっており、徴収強化の努力は評価するものの、町税3税の不納欠損が148万1,198円となっている。税負担の公平性から安易な不納欠損処理は極力避け、滞納者の対応を見極め法的措置も視野に徹底した徴収努力を望む。

②令和元年度普通交付税は、合併算定替から一本算定へ移行する激変緩和措置期間の5年目で、乖離額の9割相当約3億4,500万円が削減された。令和2年度からは一本算定となり、今後計画的な行財政運営と財政の効率化により財政の健全化に努めるべきだ。

③【土地借上料】今後、土地の賃借か購入か、どちらが町にとってメリットが大きいのかよく検討し取り組むことを望む。

④【持丸古民家周辺用地購入費】

観光農園として集客を望むのであれば、例えば、国産バナナやパイナップルなど他の自治体に無い観光客増加となる農園整備を検討すべきだ。



⑤【ポンプ修繕料】

毎年の出初式で不具合のポンプが見受けられるが、町民の生命と財産を守るため緊急時の不具合防止に向けた日ごろの取り組みを望む。



⑥【防災行政無線整備工事費】特に昨今の異常気象時の屋内では聞こえない、聞き取れないなどの声がある。今後、さらなる安全安心の向上の観点から防災行政無線と併用した機器の導入を検討すべきだ。

⑦【まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員報酬】全57地区のなか昨年より2地区増え42地区で活動中。各地区においては、核家族化の進行や新規転入家族の増加などにより、従来の地区生活の慣習が希薄化している。町内、各地区における暖かい人間関係を取り戻すため、女性パワーを結集したこの事業を全地区での実施を望む。また、事業を担う推進員の連携策の構築が望まれる。

（2）令和元年度グリーンパーク推進整備事業基金特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①財源は、グリーンパーク推進整備事業基金の繰入金であり、基金残高は、令和元年度決算で、7,587万3千円を取崩し、2億4,530万8千円となっている。今後の事業推進に当たっての財源の確保、事業の縮小・削減の検討も踏まえながら適正化を図るべきだ。

民生福祉常任委員会 決算審査の結果及び所見（抜粋）

（1）令和元年度 一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）〈全員賛成〉

①地域コミュニティ広場整備工事として香田地区の空き家活用事業（企業主導型保育事業『きすい保育園』の設置）で買収した田の整備が行われ、園庭や地域の広場として活用されているが、園児の道路への飛び出し、不審者侵入防止のためのフェンス等の設置を検討し万全の事故防止策を講じるべきだ。



②令和元年度より各種がん検診等が集団健診会場ではすべて無料で受診できるようになり、すべての項目で大幅な受診率のアップとなっており大いに評価される。がん検診は早期発見、早期治療が不可欠である。町民の健康保持を図るため積極的な受診勧奨等さらなる受診促進に向けた取り組みに期待する。

③四季彩の丘みやき内に町からの委託を受けNPO法人きゃんどうるハートが『みやき町産前・産後サポートステーション』を開設されている。利用者からは感謝の声が聞かれ取り組みを評価する。今後も妊娠・出産の大切な時期を安心して過ごせるよう施設や事業の周知を行い、1人でも多くの「赤ちゃんとママ」のサポートができるよう望む。



（2）令和元年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①特定健診受診率は、令和元年度45.0%であり取り組みを評価する。特定健診は生活習慣病の予防、重症化予防対策を進め、また、病気の早期発見、早期治療による医療費抑制のために不可欠である。国の受診率60%の数値目標を目指し、より一層の努力を望む。

（3）令和元年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①今後は保険料と窓口負担増が見込まれるため、保険料徴収強化対策のための（短期）被保険者証の発行について、きめ細かい対応、指導を願いたい。

産業建設常任委員会 決算審査の結果及び所見（抜粋）

（1）令和元年度 一般会計歳入歳出決算認定（分割付託分）〈全員賛成〉

①定住促進住宅の増加等により調定額、収入済額も増加しているが、収入未済額も前年度比300万円以上増と7年続けて増加しており、依然として高い水準である。住宅使用料については、300万円以上の高額滞納者もあり、公平性、公益性の観点から、悪質な滞納者に対しては、本人はもちろん、連帯保証人への催告を徹底し、徴収を強く進めていくべきであり、滞納対策の強化についてより一層の努力を望む。

②中原駅西側踏切横等の土地開発基金用地について、駐車場等として個人に貸し付け運用しているが、取得から長期間が経過し、住宅用地等としても良質な土地であることから、当該地等町有地の利用促進を図るべきだ。

③平成28年に施行された農業委員会等に関する法律の改正により農業に従事していない者から農業委員を選出することが必須となったが、当該農業委員等に対する研修を推進し、知識と資質向上に努めるべきだ。

④空き家バンクについて、利用希望者登録が多いにもかかわらず、空き家の登録数が少ないため、利用率が低い。委託契約している空き家対策アドバイザーをもっと活用し、空き家バンクの利用率向上を図るべきだ。

⑤企業から派遣された職員の職員派遣委託料について、当該職員に従事させている事業における具体的な期間や数値目標などが示されていない。事業の詳細な計画等を立案し、計画的な事業進捗を図るべきだ。

⑥協力隊の住宅借上料について、地域おこし協力隊員はそれぞれ民間の住宅等を賃借し、それに対し5万5千円を上限に公費により負担しているが、町営住宅の空き部屋が増加している状況を鑑み、協力隊員の町営住宅の空き部屋活用を検討すべきではないか。

（2）令和元年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

（3）令和元年度 工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①工業用地取得造成事業について、現在、当特別会計で工場用地を保有していないが、今後も定住対策および子育て支援を推進していく上で、町内における雇用の確保は重要であり、企業の進出要望に対応できる利便性の高い工場用地の確保に早急に努めるべきだ。

(4) 住宅用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①西寒水ため池進入路用地賃借料について、西寒水ため池造成地への進入路を賃借しているが、当該地を将来的に継続して道路等として使用する計画であれば、買収すべきではないか。

(5) 各会計共通所見

①各課において業務量の増大による長時間労働の常態化が見受けられる。働き方改革が叫ばれている中、長時間労働の現状を見直し、人員不足が認められる場合は、人員の適正配置を求む。

②随意契約により契約している業務については、随意契約の必要性や業務内容の見直し、競争入札による契約も検討した上で、やむを得ない場合に限り随意契約とすべきだ。

ふるさと寄附金事業特別委員会 決算審査の結果及び所見（抜粋）

(1) 令和元年度 ふるさと寄附金基金特別会計歳入歳出決算認定〈全員賛成〉

①ふるさと寄附金を活用した事業については、寄附者が希望した用途を尊重し、明確かつ効果的な活用に努めるべきだ。

②令和元年度ふるさと寄附金利活用事業5億7,726万2千円は、みやき町の将来につながる事業、公益性のある事業に活用すべきである。また町内外問わず広くアイデアを募集し、事業の成果・効果を検証し、ホームページ・広報紙等により明らかにすべきだ。

③新制度では、返礼品は寄附額の3割以下の地場産品とする基準とされ、本町においては7月7日より制度復帰が認められた。今後ふるさと寄附金の獲得には、新しい魅力ある地場産品の返礼品開発が必要と思われるが、官民連携、関係団体との協力を図り努力すべきだ。



④ふるさと寄附金については、広く町民に寄附受入れの実績、寄附金充当事業の実績、効果等をホームページ・広報紙等により明らかにすべきだ。

⑤地区安全安心特別交付金事業・道路水路整備交付金事業については、現在合計で交付金額を1地区200万円に見直され、対象事業の幅を広げ、コミュニティの醸成に寄与する事業とされている。それら以外のふるさと寄附金利活用事業についても、事業縮小・見直しを行い、事業の成果・効果を検証し、財政の効率化を十分に図るべきだ。

⑥ふるさと寄附金基金繰入金30億6,406万6千円のうち、8億6,803万5千円は、前年度までに積立てたふるさと寄附金基金を取崩し、21億5,814万5千円を一般会計へ繰出しを行っている。今後は、ふるさと寄附金制度の改正により、ふるさと寄附金も多くは望めない状況であり、基金の取崩し、財源充当については、計画的な行財政運営と財政の効率化を十分に図るべきだ。

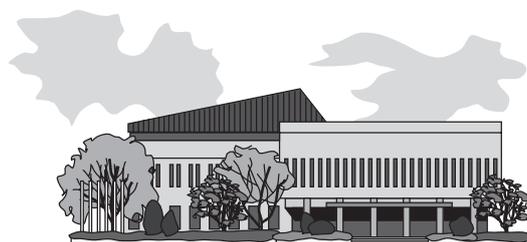
一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。令和2年第4回定例会の一般質問は11人が行いました。

各議員のページには、QRコードとSDGsの17目標のロゴマークを掲載しています。QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。

(掲載は登壇順)

番号	議員	質問要旨	頁
1	8番 古賀 通	1. 公文書関係の捺印省略について 2. 国民健康保険税条例改正と医療費の関係	11
2	2番 目野さとみ	1. 道路幅の狭い住宅密集地の火災対策について 2. 眼科医の誘致について 3. 町内の注意喚起を促す看板について	12
3	9番 園田 邦広	1. ふるさと納税について 2. 人材版ふるさと納税について 3. みやキッズパークについて	13
4	7番 牟田 秀文	1. 介護行政について 2. まごボタン導入の進捗状況について	14
5	15番 益田 清	1. 「NPO 法人中原たすけあいの会」休止予告、支援と継続について 2. デマンドタクシーの実施 3. 来年6月オープン of メディカルコミュニティセンターの目的・役割 4. 地域再生計画について、企業版ふるさと納税の件、計画について	15
6	14番 岡 広明	1. 公共施設であるしらさぎ苑への進入道路等について 2. 井柳川、右岸・左岸の道路拡幅について	16
7	12番 平野 達矢	1. 第2次みやき町総合計画と中長期財政計画の整合性とふるさと寄附金の財政運営を問う	17
8	1番 田上 幸男	1. 自然環境破壊等による害獣対策を問う 2. 新型コロナウイルス年度末対策に向けて	18
9	11番 松信 彰文	1. みやき町の高齢者福祉対策の更なる向上を目指して 2. 一級町道 白石～石貝線の整備拡充を実施すべきだ	19
10	5番 中尾 純子	1. 放課後児童クラブの現状 2. 千栗土居公園整備について	20
11	10番 宮原 宏典	1. メディカルコミュニティセンター公有財産取得について 2. 持丸古民家周辺農地の取得について 3. 保育園整備事業公有財産取得について	21





古賀 通議員



問

公文書関係の捺印省略について

行政側の視点だけでなく、申請者の視点に立ち、行政手続きの合理化・効率化を図っていく

答

が多くなる前期高齢者(65歳~74歳)は全
国保被保険者の55%
近くを占め、その割
合は県下トップであ
ることが挙げられる。
鳥栖・三養基管内
の医療施設の数は、
管内千人当たり1・
5施設で、本町単位
では7・2施設とな
っている。

問 いつまでも一般
会計からの補てんを
続けることは無理が
あると予測するが、
いかがなものか。

答 国保財政は一
般会計から約1億4
百万円を繰り入れて
おり、国保特会だけ
では賄いきれていな
い。よって、国保特
会の財源確保を保険
税率の改定に求めて
いかざるを得ないの
ではないか。

④利用者にとって使
いやしく、行政側に
とっては事務の効率
化が図れるよう双方
がウィンウィンとな
るようなデジタル化
の推進を図る。

国民健康保険税 条例改正と医療費

改正内容 給与所

得控除・公的年金等
控除が10万円引き下
げられ、基礎控除額
が10万円引き上げら
れる。自営業者等は
課税所得が減少し、
国保税の実質的な減
税となる。

問 医療費は県下ワ
ーストが続くものの、
税額は一般会計から
の繰り入れなどで不
変。国保被保険者一
人あたりの医療費は
県下で断トツに高い
が、その原因は何か。
また、県東部管内の
医療機関数はどのく
らいあるのか。

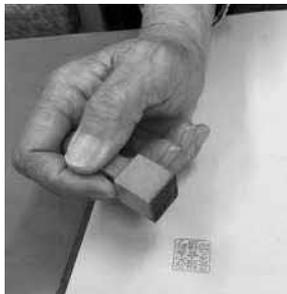
答 医療費高騰の要
因は、国保被保険者
数(令和2年4月末
現在で5451人)
の減少(前年同期比
268人減)が続い
ており、その中で医
療機関での受診機会

問 菅内閣の行政
改革で公文書の捺印
を省略すると発表し
た。一般通念で自己
証明する捺印や押印
は日本人の伝統文化
であり、民事上や刑
法上の審判でも重要
な根拠となされてき
たため、まさに画期
的な改革である。本
町における今後の対
応を質問する。

- ①捺印の法的根拠
- ②町の対応、準備
- ③「捺印」と「押印」
の違いは。
- ④手続きの簡素化

答 ①押印を求める

書類の中で法令等に
より義務付けられた
ものを例にとると、
婚姻届や離婚届があ
り現在の戸籍法では
署名し押印、その他
に二人の証人が署名
と押印することとな
っている。一方で、法
令上の根拠は無いが、
慣例として押印を求
めているものもある。
②ポストコロナの社
会を見据え先進自治
体の行政手続の合理
化・効率化の手法等
を参考にデジタル化
を推進。役場の24の
課、室で押印の必要
性を総点検した結





目野さとみ 議員



問

みやき町に眼科医院の誘致を！

答

ドラモリ中原店西側に開設に向け造成工事中！

問 町外での白内障手術は、交通負担が大きく、町内では少ない。80歳を超えるほとんどの人が白内障の状態になるといわれている。みやき町内には眼科がない。白内障だけではなく、町民の大事な目の健康を守るためにも、「健康長寿のまち」としても眼科医院の必要性は確かである。みやき町に眼科医院の誘致の考えはないか。眼科だけでなく、小児科、皮膚科、産婦人科の誘致の検討を。



造成工事中の眼科医院予定地

答 現在、中原校区のドラックストアモリの西側に整形外科と眼科を併設した診療所が建設予定。今後の計画は令和3年2月頃造成工事を完了し、約2年間地盤安定のため土地を寝

かせ、令和5年度に開設予定と聞いている。開設されていない受診科、病院は佐賀県、鳥栖三養基医師会、関係機関の意見を尊重しながら連携して整備していければと考えている。

住宅密集地の火災対策は

問 今回の原古賀地区の火災は、西と東の両方からの消火があれば被害や近所の皆様の恐怖や不安も少なくて済んだのではないかと考える。西側からの消防車の進入路は瓦屋さんの西の道路が適していると思うが、その侵入道路の拡幅やカーブを直線にする整備の考えはないか。

答 今回は住宅の東側での火災で西側か

らの進入はなかった。仮に西側付近で火災があつた場合、西側からの進入の可能性はあると想定される。道路の整備に関しては、消防車の走行を含め、拡幅が必要な箇所は地権者の方のご理解、ご協力も必要になる。地元地区と引き続き協議を行っていききたい。

看板にSDGsロゴマークを

問 SDGsは国際社会が取り組む持続可能な開発目標であ

る。国連は2030年達成に向け「行動の10年」とした。行動の10年の取り組みとして、啓発、普及の面から、町内の注意喚起を促す看板にSDGsのロゴマークを入れてはどうか。

答 町設置看板の老朽化等で更新していく際に、SDGsのロゴマークを入れていくことは検討可能と考えている。執行部内で方針を共有し進めていく。





園田 邦広 議員



問

ふるさと寄附金の返礼品（商品）開発を急げ

公民連携により新商品開発に向け取り組んでいる。また、事業者とコラボし、地場産品の底上げを図っている

答

問 現在返礼品は、どのくらいあるのか。

答 各サイトで掲載している事業者は約80で返礼品は約900点を掲載している。

問 今後、多くの寄附を頂くには、さらに魅力ある商品を開発すべきと思うが。

答 今年度は、みゃき神バナナを使ったビール・ジェラート・ロールケーキ等を新たに開発している。町内で加工したものであれば地場産品と



今年開発されたジェラートとロールケーキ

認められるので海産物等についても町内の事業者において加工され、返礼品として取り扱っている。

問

人材版ふるさと納税を大いに活用すべきだ

問 この制度は、企業版ふるさと納税を

活用し、専門的知識を持つ人材が確保でき派遣社員の人件費も寄附で賄うことができる。

答 現在みやき町はメディカルコミュニティみやきプロジェクトを始めとして健康寿命を延伸し、高齢者が活躍できる場を創出する事業等、幅広い事業に取り組

んでいる。今後事業推進には高い専門性、ノウハウを持った即戦力としての有為な人材は不可欠である。

進めるうえでICT（情報通信）に精通している人材を確保すべきではないか。

問 国は令和2年度9月にデジタル庁を創設し各省庁が異なるシステムを使用しているため一元化を是正し、勧告権限を持たせ効率化を図っていくこととなっている。各自自治体においても国が関与しシステムの一元化が図られる。

みやき町においても今後デジタル化を

答 現在、複数の企業と検討している。コロナ禍の中で各企業とも今期は赤字が出る予想され、法人税が掛からない中で寄附は難しい。しかし人材だけはみやき町とぜひ連携したいという企業がある。

問 平成24年度から定住対策事業に取り組んできた。その結果、子どもが急激に増加し、保育園の待機児童を始め、みやキッズパークでの混雑が顕著となっている。このため遊具の増設を図るべきだ。

問 軽食ができるような施設を。

答 ふるさと振興協会において特産品の販売促進および産業振興等を目的として物品販売を検討している。

ふれあい広場（みやキッズパーク）の遊具増設と軽食ができる施設を



牟田 秀文 議員



問

来年度の介護保険料は

答

来年度から3カ年は現行と同額か微減で計画

介護行政について

問 65歳以上の介護保険料は来年3月に見直されるが、介護保険料の計画、また、介護保険料の滞納の対応は。

答 介護保険料の滞納者数は、みやき町で163名、滞納額が961万9521円、給付制限の方が3名。減免等については、鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課に相談を。

問 認知症の人も年々増え、2025年には高齢者の5人に1人になると見込まれるが、鳥栖広域管内での現状と今後の対策は。

答 鳥栖広域管内では約5600人が認知症と推計され、みやき町内では、現在873名の方を把握している。平成30年度から鳥栖地区広域



東寒水地区百歳体操



認知症キッズサポーター養成講座(中原小)

年は現行の5691円と同額か若干の微減で計画されている。

市町村圏組合介護保険課に支援チームが設立され、早期診断・早期対応に向け支援体制が構築されている。地域の実情に

上に推進している。また、みやき町地域防災計画の改定に合わせ、支援者名簿への登録が必要な高齢者等の個別計画を進めている。

MAGOボタン導入の進捗状況は

問 令和2年度当初予算で1716万円で導入するMAGOボタンの400台について、高齢者や要支援者への支給実績と、どのような利用メニューが付けられたのか。

答 現在、MAGOボタンの配布済み数は97台となつて、高齢者の中には台風時や豪雨時に防災行政無線が聞き取りづら

時要支援者等への個別受信機とし、緊急通報装置として利用できないか、機種の比較検討を進めている。今回、台数が増えることで、御用聞きの人員不足が懸念され、シルバー人材センターと人員協議を行う。

問 町内にはみやきまち株式会社やシルバー人材、支え合いの地域づくりと、町内に幾つも必要なのか。

答 シルバー人材の目的は、退職後の健康管理と生きがいづくり、MAGOボタンは、サービスを受ける側の立場に立つて、支え合い地域づくりは、ボランティア活動である。



益田 清 議員



問

NPO法人「中原たすけあいの会」運営に限界、町の支援は

答

「今年度まで」継続は難しい

問 NPO法人「中原たすけあいの会」の運営継続へ支援はできないか。中原校区を中心に長年ボランティアで移動支援活動に努めてこられた代表が高齢で、運転手が見つからないことや赤字運営で、今年度限りでの休止を表明されている。弱者への車を使った移動支援は福祉有償運送と無償運送の「もやい」があり、また居場所づくりなど多くの方が利用されてきた。特に障がいのある方など自宅

と目的地を「ドアトドア」で結び、生きがいと生活の支えとなってきた。町老人保健福祉計画は、福祉有償運送について目標を定め取り組んでいくことになっているが、「中原たすけあいの会」が担ってこられた。(下表) 存続にあらゆる支援へ努めるべきだ。

答 町の補助、支援を申し入れてきたが、ボランティアの減少、ドライバーの高齢化により安全運行に自信がないとの

みやき町老人保健福祉計画（平成30年度～令和2年度）

福祉有償運送	実績		見込	目標		
	H27	H28	H29	H30	R元	R2
新規利用者数(人)	18	20	22	24	26	28

ことで休止を決められた。新たな手段としてシルバー人材センターやMAGOPボタンの御用聞き等の事業の取り組みの中で協議していききたい。

「メディカルセンター」建設費約26億 住民負担、ズッシリ

問 メディカルコミュニティセンター運営構想は、久留米医療法人天神会と町の連携が進められてきた。11月の議会特別委員会では同法人代表は「内科（循環器系）も入る総合的なクリニック（統合医療）をつくりたい」と発言。これは町長が「あくまでも商業ベースではない」と説明してきたことと違う。総合的な診療所

という位置付けか。また、目的が「医療費増高の軽減、健康寿命の延伸、高齢者がいつまでも暮らせる」という具体策について答えられてこなかった。説明すべきだ。建設費の償還返済額、維持管理費・メンテナンスはどうなる。

答 本施設は健康増進、健康寿命延伸を目的に19の民間事業者と町が連携し、予防医療および機能回復に資するさまざまな取り組みを行って



メディカルコミュニティセンター(イメージ図)

いきたい。メインの社会医療法人天神会が「幸伸会」を立ち上げ、みやき統合医療クリニックを開設する。医師の配置とリハビリを中心とした保健医療の実施をとまなうもので、全体のランニングコストは年間の光熱費・管理委託費など2千万円、収入のテナント料は当分50%減免で年2400万円程度を見込む。



岡 広明 議員



問

しらすぎ苑(斎場)の場所が分かりにくい

答

しらすぎ苑(斎場)周辺の道路整備等を進める

に協議し整備を望む。

問 しらすぎ苑への進入道路に対し、多くの町民、町外遠方より見えた方に場所を説明しても分かりづらいとの声が建設時よりある。

答 井柳川の上地橋から下流が道路幅員が狭く整備が必要で、右岸の町道新村直代西通線の一部区間と、左岸の町道新村上地線全線を拡幅事業を実施して令和3年度完了予定。

その後、町道直代

町道直代高田線が最適で約140m程拡幅をすれば大型車等も通行できる。地元関係者と早急



急がれる道路拡幅は(鉄塔の向こうはしらすぎ苑)

高田線の道路拡幅について、地権者、関係地区と協議を行い、また東部土木事務所、公安委員会と国道との取付協議を行っていききたい。

伺う。

答 年内に関係地区に依頼し協議を進め調整をしたい。

しらすぎ苑への標
示看板等の設置を

問 進入経路が分かりにくいと利用者より指摘を受けている。利用者に分かりやすいような標示板の設置が必要と考える。

答 三根保健センター付近の交差点、井柳川上地橋および国道264号新直代橋に標示板設置を予定、看板はシラサギのイラストのような絵と進入方向を描いた標示板を考えている。

数カ所に設置する方向での取り組みを

国道以南の井柳川
右岸、左岸の道路
拡幅を

問 新直代橋より下

流の右岸は河川道路(直代地区)で、左

岸側は町道直代松枝線(直代、松枝地区)で道路幅が狭く離合場所もない。

両岸全線には交通安全施設整備事業としてガードレール設置が完成し安全対策はできたが、自家用車等も年々増加し、農業面においては農機具等も近年大型化し、今の道路幅では離合もできない弊害もでている。

早急な道路拡幅対策の取り組みを。



井柳川右岸側(直代地区)

答 国道264号より上流部(新村地区)の整備が終わり次第、下流(直代、松枝地区)の道路約1.7km程についても交通量等を調査した上で検討したい。

離合場所だけでもと言う意見も聞いている。交通量等を鑑み、地区関係者の意見を聞き、協力いただける箇所について離合場所を設ける整備を検討したい。



平野 達矢 議員



問

財政運営の整合性を問う

答

議会への説明と理解を求めていく

ビスは財源不足に陥るといっても認識すべきだと思う。本来の財政運営の可能性を伺う。

問 第二次みやき町総合計画における中長期財政計画に影響を及ぼすふるさと寄附金に大きな意義がある時代になると予想される。コロナ禍で国の財政、地方財政も大きな変動が起こる可能性がある。経済低迷、税収減少、引いては地方交付税の減額、さらなる行財政改革、住民サービスの低下など悪循環が懸念される。いかなる事態にも対応できる行財政体質を早急に確立すべきと考える。次の3点に

ついて見解を求める。総合計画の事業の財源裏付けとなる財政計画の詳細を問う。

答 本町の实情に合った計画的、効率的行政運営の仕組みを構築し、必要な事業に重点的に投資し、

町民の理解の元の行財政サービスを目指し、事務事業効率化、人件費抑制など厳しい財政運営を考慮し適正規模の財政構造の確立に努め、地方債への依存度を抑制する。また今後の推計に当たっては、財

政計画時点で把握できる制度改正、財政需要については可能な限り反映した上で、その他の制度については現行制度が継続することを前提に策定している。

化はあるのか。制度変更された場合の対応シミュレーションも必要と考える。今後の本町財政運営への影響を伺う。

答 一般会計の充当

事業財源として、現在18億余円の繰入れを行っており、そのうち約9億円が経常的経費への充当となっている。経常的な充当事業、額の主なものは、学校給食費補助事業に約8千8百万円、子どもの医療費助成事業に約7千4百万円、子ども

のインフルエンザ予防接種等に約5千3百万円などとなり、ふるさと寄附金は町財政運営において重要な財源となっており町民に対する質の高い行政サービスの提供できる結果になっている。今後も財源として有効な制度であり最大限活用して行きたい。

問 経常一般財源による財政運営が本来の自治体運営のあり方だ。交付税交付団体である以上、単体費用以上の行政サ

答 経常一般財源の今後を考えると合併算定から一本算定へ移行したこと、コロナ禍による国の財政運営、本町の税収に及ぼす影響により厳しい状況になるのではと推測しており、国の情勢等を注視していく必要があると考える。しかし、子育て支援、定住対策、健康長寿のまちづくりなど町独自の施策を継続、維持していくべく、新たな財源確保に努めるとともに現行制度を最大限活用して財源の有効活用を図っていく事が重要と考えている。



田上 幸男 議員



問

自然・動物・人間の共存は

答

まず、野生化させないこと

問 昨今、ペットとして飼われていた動物が野生化し、住民の生活に被害を与えていると聞く。また、私の地区では、神社

外来種等の動物が飼主の無責任な理由により野生化し、民間敷地だけでなく農地等も荒らしている。飼い主はペット

畑、家の庭までやって来る。この場合の農業被害は無いのか伺う。

被害が年々増加している。要望調査によりワイヤーメッシュ柵を設置。また、「イノシシを見かけた」

間違いないと思われる。冬から春にかけて事業者、学校、町民への町の対策を伺う。

周りの雑木の伐採が大規模に行われており、その結果そこにいた動物たちの活動等にごのような影響があるのか大変危惧されるところである。野生化したペット、害獣化した動物にごう対処していくのか伺う。

を適正に管理し最後まで育成（終生飼養）しなければならない。野犬は狂犬病予防法に基づき捕獲保護し、野猫は地域猫活動を行う団体に対し、不妊・去勢手術に係る費用の補助を制度化している。

安中学校付近を中心に中山間部の農地の水田等が荒らされる

「水田が荒らされた」などの苦情があった場合は、猟友会に連絡し箱罠を設置していただき捕獲に努めている。

特別定額給付金に加え事業者支援給付事業、また、3千円のクーポン事業も行った。学校では3密を避けマスク着用、手洗い、換気を行い、また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し体温計、消毒液、サーキュレーターなどを購入し感染原因を排除

する方法を取り入れられている。町民に対しては「みやき町新型コロナウイルスインフルエンザ等対策行動計画」を始め、新たに国や県から発出された指針等に基づき感染予防・拡大防止対策を実施してきた。県内に陽性者が確認されて以降、ホームページのほか9回にわたりチラシを全戸に配布し、情報提供や感染予防対策等の周知やお願いを行った。現在の県内の感染状況や年末年始の時期ということも踏まえ、12月中に感染予防対策に関するチラシの全戸配布を行った。今後状況に応じて町民の皆さまへの情報発信を継続していきたい。

答 ペットとして飼われていた犬や猫、

問 イノシシが地区のあちこちに出没している。道路、田



田んぼに出没したイノシシ(中原校区)

新型コロナウイルス 第三波に向けて

問 前回の一般質問でも質問をしたが、その時より明らかに感染者数が増え第三波に入っているのは

問 前回の一般質問でも質問をしたが、その時より明らかに感染者数が増え第三波に入っているのは

問 前回の一般質問でも質問をしたが、その時より明らかに感染者数が増え第三波に入っているのは



松信 彰文 議員



問

デマンドバスで超高齢化に対応を

答

新年度中の試行を目指す

経過

2022年（令和4年）から「団塊の世代」が後期高齢者となる。現行のコミュニティバスは運行開始8年目だ。そこで①②を伺う。

問 ①現行のコミュニティバス（定時循環型バス）をデマンドバス（予約型乗合バス）に転換し「玄関から玄関へ」の移動支援事業にすべきだ。
②上峰町では「おたっしや便」として買

答

①のデマンドバ

物代行サービス事業を平成30年度から実施中だ。①②とも高齢者や体の不自由な方々の日常生活の支えとなっている。本町も早期に実現し超高齢化社会に対応すべきだ。



デマンドバス実施状況

上峰町	武雄市	有田町
○運行中 (2019. 3~)	○実証運行中 (2021. 4~ 本格運行)	○運行中 (2020. 4~)
○登録予約制	〃	〃
○運賃300円 (各種優待制度有り)	〃	○運賃 200円
○1日9便		

又は超高齢化社会に向け国の指針にも合致している。早急に検討委員会を開き実現に向け努力する。
②の買物代行支援事業についても今後は必要な事業と思う。早期実施に向け努力したい。

路線・沿線概要

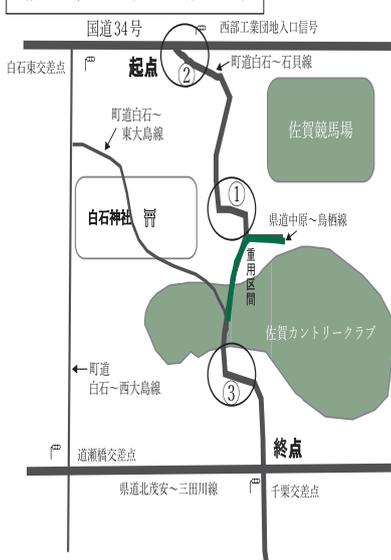
この路線・沿線は国道34号以南の本町東部区域と鳥栖市西部区域の境界を南北に貫通している。本町側に白石神社、鳥栖市側に佐賀競馬場

一級町道
白石〜石貝線

高齢化状況（令和元年10月）

	みやき町	上峰町
人口	25,694人	9,587人
65歳以上	8,699人	2,432人
高齢化率	33.8%	25.4%
独居高齢者	1,600人	467人

1級町道白石〜石貝線周辺略図
(総延長2,940m 県道重用部分740m)



問 この地域は開発計画がなく空白状態だ。この町道整備改良を契機として地域の活性化に取り組みべきではないか。

答 県道中原〜鳥栖線との重用区間があり県・鳥栖市と協議した経緯もある。

問 左図の①については地権者より用地提供の申し出がある。②はまず鳥栖市との協議が必要だ。③は今後の課題だ。

答 懸案事項だ。今後は鳥栖市の佐賀東部環境施設組合施設へのアクセス道路としても位置付けたい。



中尾 純子 議員



問

各児童クラブに責任者(室長)は配置しているか

答

三根校区は兼任、他のクラブは一名ずつ配置

問 現在、放課後児童クラブでは待機児童はいるのか。

答 利用申請者の全ての児童の入所はできており、待機児童の発生はない。

問 支援員の確保は大丈夫なのか。

答 国の基準に基づき実施できている。

問 特別に配慮を要する児童に対しては1人に対して1人の支援員がいたほうがいいのか。

答 配慮を要する児童については、保護者から診断書の提出や相談などで確認している。現在はおおむね3人に1人の支

援員の配置基準とされている。

問 常駐の専門の支援員は配置しているのか。

答 室長を配置している。支援員はシフト制で勤務しており、その支援員全てが責任を持ち、子ども達の支援を行っている。



放課後児童クラブの子どもたち(ふれあい広場)



問 三根校区のいずれも、ちくしクラブでは室長は兼任。小規模とはいえ独立している。室長はそれぞれ必要と考える。

答 室の管理運営および支援員の指導について現時点では、兼務の配置で対応できていると判断している。

千栗土居公園の遊歩道いつ完成するのか

2019年3月の質問には次年度に検討。材質についてもその時に考える。次年度とは2019年4月以降。そして2020年になった。

答 2017年に、地元地区でのワークショップで意見を聞

いた。2018年は前年度からの引き続きの事業、明治維新150年記念に基づき交付金があり、これを活用と考えていたが、視点場、あずまや整備、さまざまな要望があり、これを完成させて最後に遊歩道整備となった。材質はゴムチップで試算している。遊歩道完成は次年度になる。できれば夏あたり、ハスの時期というのが一つの目安とされている。

問 遊歩道の整備を2016年に質問、その時の回答は公園には2団体の管が埋設されているので協議を行い許可が出れば始める。玉砂利を入れて健康増進、心と体の癒しを目的に整備と考えている。



千栗土居公園(東側)



宮原 宏典 議員



問

町有財産の過大取得と運用

答

目的を持って適正に執行する

問 メディカルコミュニティセンター行政財産に

関し地方自治法238条4に、「行政財産は目的外使用禁止」とある。筑邦銀行長門石支店への土地賃貸借は議会特別委員会に報告せずなぜ賃貸借契約締結をしたのか。筑邦銀行は私企業である。本町には土地を融通する財政的な余裕はない。町長の胸先三寸で筑邦銀行の賃貸借を誘致されているのは問題だ。

答 筑邦銀行はみやき町に顧客も多い。地方自治法同条7項に用途目的外でも公益性があれば認められている。メディカルコミュニティみやきのオープンに合わせた。

循環器科の診療所とは議会は初耳だ。町長は認識不足、説明不足と答弁されたが、町長は知っていたことで議会に隠していたことになる。

メディカルコミュニティみやき(テナント)について

問 リハビリ施設や

統合医療施設として説明を受けてきた。みやき統合医療クリニックとの先日の説明は驚きだ。内科・



メディカルコミュニティセンター(イメージ図)

答 答弁が変化したのは事実だ。鳥栖三養基医師会の理解を得て、リハビリを中心とした施設運営は事実である。

問 メディカルコミュニティ内の新古賀病院の診療所は、機能回復を目的とした健康増進施設と位置付け、商業ベースではないと聞いていたが。

答 町民の健康増進や利便性の向上目的で事業を進めている。今後は、指摘を真摯

問 中原校区保育園用地1万3000㎡・金額9500万円を議会議決で取得した。その後、面積が過大として一部を「神バナナ」に賃貸する提案に議会からは反対の意見があったが、町長は貸地を強行されるようである。議会無視も甚だしい。今後、子どもの増加が見込まれ

保育園整備事業用地取得について

に受け止め議会と信頼構築に努力する。

る。当初計画どおり保育園用地として整備すべきだ。

答 余剰地を農園として利用する場合は、園児の食育につながる。また、観光農園としても適している。

問 町長の業績は認める点もあるが、長期政権の「おごり」が出て相互信頼に欠けた行政だ。

答 ご意見を踏まえ初心に返る。



中原校区の保育園用地

祈り

新型コロナウイルスの感染が止まりません。

医療体制の崩壊危機さえ伝えられる現状です。

ウイルスは目に見えず、

予防には人の動きを止めるしか方法がありません。その結果として社会・経済の活力が削がれ人の心も委縮します。負のスパイラルです。

今は3月末に開始予定のワクチン接種を待ちつつコロナ禍の早期収束を祈りましょう。



コロナ禍と共に生きる

昨年末からコロナ感染が悪化し、厳しい年明けとなりました。新年になり政府は緊急事態宣言を再発令し、全国の感染者数も激増しています。

いずれは収束するでしょうが、急変する事態に右往左往、あおられた方向に流されるばかりです。

今はともかく踏ん張って三密回避、マスク着用、手洗いを徹底し、コロナ禍と共に前に進んでいくしかない状況だと思います。



ふゆのそら 闇夜に浮かぶ 光かな

イルミネーションの光には、やっぱり癒されます。

今年の12月19日に中原庁舎で点灯式がありました。

毎年飾り付けに尽力されている皆さまありがとうございます。



中原庁舎



みやき町庁舎 防災センター

令和3年 第1回みやき町議会定例会(3月) 会期の予定 3月1日(月)～18日(木)

一般質問 3月12日(金)、16日(火)、17日(水)

本会議の開会は午前9時30分です。

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。

編集後記

「はやぶさ2」が7年ぶりに帰って来ました。小惑星リュウグウから奇跡的に宇宙の起源を解き明かす物質、カプセルの玉手箱は未知の驚異世界を見せてくれるでしょう。

世はコロナ感染治療に医療関係者は必死です。共に未知の領域、頑張ってください。(古)



◎広報編集委員会

委員長 松信 彰文
副委員長 目野さとみ
委員 園田 邦広
委員 古賀 邦通
委員 中尾 純子
委員 田上 幸男